

2006年3月吉日

全日本選手権大会2006のご案内

この会報が届く頃には桜の花も盛りを過ぎているかも知れませんが、会員の皆さんいかがお過ごしでしょうか。春ののどかな雰囲気の中、協会内部ではすでに今年の大会に向けた準備が着々と進んでいます。

特に今年は寺尾先生をはじめとする東海大学の方々のご協力でレース水面を清水港に移し、時期も1ヶ月繰り上げて海の記念日の週に開催することになりました。現在、関係官庁や地元企業、商店街等に開催のための許認可、後援、協賛等の働きかけをしているところです。

参加予定の皆さんに事前の情報提供を目的として、会場周辺の地図や、写真をまとめてご紹介します。まずは会場全体の説明から：



レース会場は上の地図の右側、四角に1と書いてある浜辺で、名前は（三保）内浜海水浴場といいます。東海大学の海洋科学博物館のすぐ西側になります。ここは、夏の間、海水浴場として賑わいますので、一般のお客さんにもソーラー・人力ボートの大会をアピールする良い機会になると思います。

船検&デモンストレーション会場

レース海面とは別に、地図の左側、マリンパークと書いてあるところにサッカーでおなじみの清水エスパルスプラザという建物があり、その前の広場をつかって、21日の金曜日に事前の船検とデモンストレーション走行を実施する予定です。こちらは、海水浴場よりもっと大勢の人の目に触れる機会があるので、大会を盛り上げるには絶好の場所と言えます。



エスパルスプラザ（道路側）



エスパルスプラザ（海側）



デモ走行（予定）水面



港から見える富士山

参加艇は金曜日にここで船検を受け、その中の数艇が主催者の要請でデモンストレーション走行をする予定です。船検を終えた船は、主催者が用意するトラックで、レース会場のパドックにピストン輸送します。検査で問題が出たり、修理が必要になった船は、工作機械等の設備が整った作業場を東海大学のご厚意で借用できるそうですので、そこで簡単な修理や調整ができると思います。

また、エスパルスプラザ内には、すし屋横丁、各種レストランやカフェ、みやげ物屋、ゲームセンターなどが出展して、食事や買物を楽しむこともできます。

レース会場詳細

レース会場の内浜海水浴場は三保の松原の内側に位置する小石の浜で、渚から5, 6M沖はかなり水深が深くなり、ボートの走行に問題はありません。



レース会場（南から北方向を望む）



海の家

浜の陸側にはコンクリートの遊歩道と2段の幅広階段、さらに貧弱ですが芝生があって各チームのパドックとして使用できそうです。海水浴場なので、7月になると海の家が数軒、オープンするようです。遊歩道の陸側には、公衆トイレもあります。さらに、大会本部に好都合な休憩所もあって、夏場は日除けテントも付くそうです。



公衆トイレ



休憩所（日除けも付く）

宿泊施設と駐車場

写真の休憩所のすぐ裏が東海大学の海洋科学博物館（水族館）ですがその駐車場は使えません。ただし、休憩所裏に若干の駐車スペースがあり、近くには1日500円の民営駐車場も利用できるので、駐車スペースはまず問題なさそうです。ただし、大会当日は一般の海水浴客や、ジェットスキー、ウインドサーフィン愛好者がどの程度利用するかによって、多少の制約はあるかも知れません。



休憩所裏の駐車場



東海大の海洋科学博物館前

宿泊施設としては、会場のすぐそばに民宿が3軒ほどあります。それ以外にもまだ有りそうです。また、福田屋というホテルもあります。今後、宿泊施設リスト等の情報をご案内する予定です。



民宿「三保荘」



民宿「竹下ナギサヤ」



民宿「潮」



ホテル「福田屋」

レース海面の海図



参考としてレース海面の海図を添付します。

日本ソーラー&人力ボート全日本選手権大会2006

開催日程：2006年7月22日～23日（土～日）

* 21日（金）は準備日

開催場所：静岡市清水区 三保海水浴場（レース会場）

同上 清水エスパルスプラザ前広場（船検会場）

主催： 日本ソーラー・人力ボート協会

共催： 財団法人マリンスポーツ財団

共催： 東海大学

（文責 深町）